

拝啓 皆様方におかれましては御健勝のこととお慶び申し上げます。
御案内とおり1989年7月に現国立感染症研究所の戸山研究庁舎の建設工事中に、土中から少なくとも62体の人骨が発見されました。

これを受けまして、当省は、建設工事の場所が旧陸軍軍事医学校の跡地であったことから、土地の管理者としての立場から旧陸軍軍事医学校関係者に対する聞き取り調査等を実施し、2001年に、「当該人骨は、軍医学校にあった標本又は標本作製用などに集められた死体の一部であると推測されましたが、確証は得られず、細菌兵器などを開発していた旧陸軍の第731部隊との関連を含め明らかにできなかった」とした調査結果をまとめました。

現在は、発見された人骨の身元確認をするための新たな手がかりや、鑑定について新たな検査方法の開発もないことから、このような状況で鑑定等を実施しても、期待するような成果は得られないと考えております。実施する状況ないことをご理解いただきますようお願いします。引き続き、人骨の身元確認ができる検査方法の技術開発の動向に注視していきたいと考えております。

将来的に新たな手がかりが得られることもありますので、当分の間は、土地の所有者として発見された人骨を丁重に保管していきたいと考えております。

具体的には、保管施設の管理は、国立感染症研究所に依頼し、献花台の清掃を行うとともに、保管施設の周辺については、除草及び落ち葉拾い等の清掃を行うなど、適切な管理に努めております。

また、土地の管理者として当課と国立感染症研究所の職員で、毎年1回拝礼を行うとともに、毎年200名程度の皆様が来訪され発見された人骨の御供養をしているところです。

皆様方からは、身元確認のための貴重な資料を御提供いただきましたが、現時点では731部隊との関係が明らかではない状況ですので、肉親の方々にその結果を報告する状況にはありませんが、身元確認のためにお預かりした写真等については、大切に保管させていただいております。

今後とも、問い合わせ等がありましたら誠実に対応していきたいと考えておりますので、御理解いただきますようよろしくお願いします。

敬具

2012年10月10日

厚生労働省大臣官房厚生科学課課長補佐

軍医学校跡地で発見された
人骨問題を究明する会 御中